

株主の皆様へ

第85期 中間報告書

2023年4月1日から2023年9月30日まで

TOMOKU

Packaging Innovation

証券コード 3946

株式会社トーモク



TOMOKU

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第85期第2四半期（2023年4月1日から2023年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の法的位置付けの5類移行に伴い、行動制限が緩和され社会経済活動の正常化が進み、個人消費や設備投資は持ち直し、景気は緩やかに回復しました。一方で、ウクライナ情勢の長期化によるエネルギー・原材料価格の高騰、世界的な金融引締めが進む中での円安基調や物価上昇等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は102,367百万円（前年同期比3.0%減）、経常利益は3,559百万円（同2.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,217百万円（同6.4%減）となりました。

セグメント別の業績は次ページに記載の通りでございます。

通期では連結売上高2,350億円、連結経常利益116億円、親会社株主に帰属する当期純利益77億円を見込んでおります。

以上ご報告の通りでございますが、中間配当金につきましては1株につき35円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解をいただき、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2023年12月

代表取締役社長執行役員 中橋 光男

セグメント別業績

段ボール

売上高 594億93百万円 (前年同期比6.9%増)
営業利益 40億88百万円 (同52.9%増)

段ボールの国内需要は、食料品を中心とした製品値上げが継続し消費者による買い控えや節約志向が続いたことに加え、猛暑と雨不足のため作柄不良となった青果物の影響等により前年を下回りました。

当社グループの国内段ボール部門は、ケース販売量は微減にとどまりましたが、シート販売量が前年を大きく下回りました。しかしながら、収益面では昨年より取組んできた製品値上げが浸透し、増益となりました。

住宅

売上高 217億32百万円 (前年同期比22.5%減)
営業損失 14億81百万円 (前年同期は営業損失5億63百万円)

国内の新設住宅着工戸数は全体で減少しております。

当社グループの住宅部門は、(株)スウェーデンハウスが「オリコン顧客満足度調査ハウスメーカー注文住宅」9年連続総合第1位を徹底訴求するとともに、規格型商品「ヘンマベスト」のプラン増や分譲住宅の建設等魅力ある提案を実施しております。また、(株)玉善では分譲用の用地取得を順調に進め、販売活動を強化してまいりました。上半期は住宅買い控えの影響等により両社の販売棟数は前年同期を下回りましたが、住宅展示場では来場者数が8月以降増加傾向となっております。



(株)スウェーデンハウスの分譲住宅

運輸倉庫

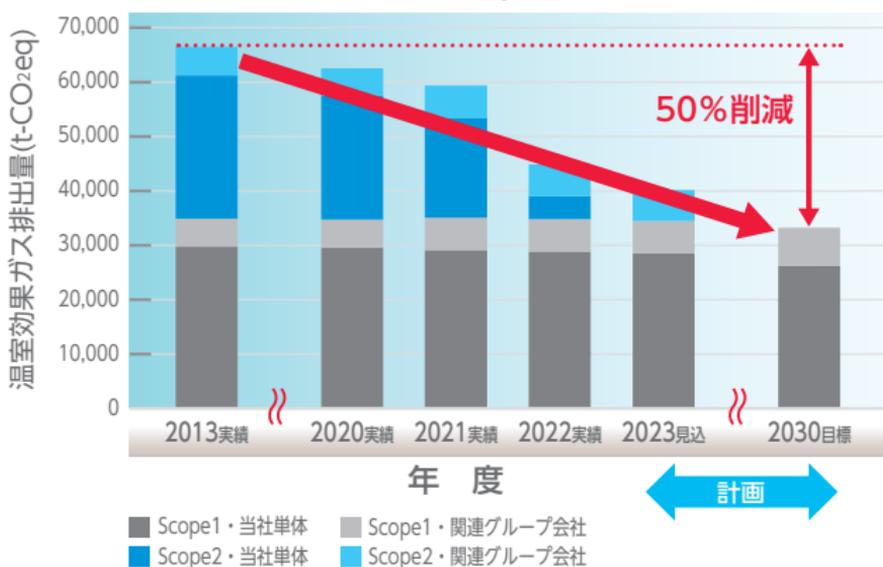
売上高 211億41百万円 (前年同期比3.3%減)
営業利益 9億22百万円 (同15.1%減)

当社グループの運輸倉庫部門は、飲料業界における消費落ち込みの影響により取扱数量が減少したことに加え、出荷減少による在庫数量が増加したことに伴う倉庫内生産性の低下、保管コストの増加、さらにエネルギー価格上昇による燃料や電力料の増加等が影響し減収減益となりました。

温室効果ガス排出量削減の加速

当社グループでは、SDGs、TCFDに賛同し2030年度までに温室効果ガスの排出量（Scope1+2）で2013年度比50%の削減を目指しております。2021年度より開始した購入電力の再生可能エネルギー由来電力への転換は、当社単体の17工場すべてで完了しており、合計で約50%の温室効果ガス排出量削減を実現しています。

当社単体+国内段ボール・紙器関連グループ会社
温室効果ガス排出量（Scope1+2）削減計画



地域コミュニティへの貢献

段ボール工場では、近隣の小中学校を対象に社会環境体験の一環として見学会や勉強会など職業体験学習を実施しており、段ボールを通じて「循環型（リサイクル）社会」、「ものづくり」の重要性や当社グループ事業活動への理解を深めていただいております。また工場周辺の清掃活動やお祭り、イベントへの協賛など地域社会と積極的に交流しております。



中学生を対象とした職業体験学習の様子

四半期連結財務諸表（要旨）

●売上高	1,023億67百万円	(前年同期比 3.0%減)
●経常利益	35億59百万円	(前年同期比 2.3%減)
●親会社株主に帰属する 四半期純利益	22億17百万円	(前年同期比 6.4%減)

四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

区 分	当第2四半期連結会計期間末 (2023年9月30日現在)	前連結会計年度末(ご参考) (2023年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	90,608	83,628
固定資産	116,546	111,750
有形固定資産	95,868	94,597
無形固定資産	1,247	1,433
投資その他の資産	19,431	15,718
資産合計	207,155	195,378
負債の部		
流動負債	75,805	67,641
固定負債	47,338	47,029
負債合計	123,144	114,671
純資産の部		
株主資本	77,343	75,629
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,284	11,276
利益剰余金	56,574	54,882
自己株式	△ 4,184	△ 4,199
その他の包括利益累計額	6,123	4,567
非支配株主持分	543	509
純資産合計	84,010	80,707
負債純資産合計	207,155	195,378

四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

区 分	当第2四半期連結累計期間 (2023年4月1日から 2023年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (2022年4月1日から 2022年9月30日まで)
売上高	102,367	105,553
売上原価	86,008	89,469
売上総利益	16,359	16,083
販売費及び一般管理費	13,255	13,241
営業利益	3,103	2,842
営業外収益	828	1,166
営業外費用	373	365
経常利益	3,559	3,644
特別利益	—	34
特別損失	48	101
税金等調整前四半期純利益	3,510	3,577
法人税、住民税及び事業税	1,551	1,304
法人税等調整額	△ 290	△ 132
四半期純利益	2,250	2,405
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	36
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,217	2,369

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	3月31日 その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします。
配当金支払株主確定日	期末配当金につきましては3月31日、中間配当金の支払いを行う場合は9月30日といたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所、札幌証券取引所
公告方法	当社ホームページに掲載いたします。 https://www.tomoku.co.jp/ 但し事故その他やむを得ない事由によりホームページに掲載できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 トーモク TOMOKU CO., LTD.

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2 丸の内三井ビル4階
TEL.03-3213-6811 FAX.03-3213-2825
<https://www.tomoku.co.jp/>

